

2021年1月吉日

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

当社は、2019年12月に東京証券取引所市場第二部に上場しましたが、2020年12月期は上場初年度として迎えた年でございます。期初の順調なスタートも束の間、新型コロナウイルスの影響が拡大し、波乱に満ちた1年でございます。そのような厳しい環境下、こうして1年を過ごすことができましたのも、皆さまのご支援の賜物であり、厚く御礼申し上げます。

振り返りますと、そのような環境下ではありますが、継手事業における設備投資は、2020年7月ベトナム工場増設完成、2020年12月新潟工場の増設着工と、国内外において積極的に行っております。さらに、システム投資は、2020年10月、国内の製造・営業の基幹システムの入れ替えを行い、管理会計の高度化と海外工場とのシステム連携による生産性の向上を計画しております。

今年度の展開ですが、防災・工事業業においては、(株)アクアリザーブによる新規事業(貯水機能付給水管事業)が、住宅産業顧客のニーズをとらえた商品開発が進んでおり、本格展開の局面を迎えつつあります。各ご家庭への貯水タンクの普及が進むことで、災害時にも安全な水をお届けできるものと期待しております。また、介護事業においては、(株)スペースケアが、製造業のグループ会社として、海外からの調達や機械設備の運営ノウハウという強みを活かした事業戦略を展開し、多くの方々に健康的な生活を続けていただくため、新たな取り組みにもチャレンジしてまいります。

当社の祖業である継手事業は、防災を目的とした製品を扱い、加わった事業も安全・安心をコンセプトに持つ事業が多く、今後とも、周辺分野も含め、積極的にM&Aを行う方針であります。その方向性は、近年、地球的規模での課題であるSDGs(持続可能な開発目標)に関わる事業展開ともなり、当社グループは、インフラ事業を軸に、防災・工事、自動車・ロボット、介護といった、社会を支える事業を展開しております。新型コロナウイルス感染症の拡大を機に、より、Sustainable(持続可能)な社会となるよう事業に邁進して参ります。

皆さまにおかれましては、今後とも、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

株式会社テクノフレックス
代表取締役 前島 岳